

笑顔こぼれる みんなのミニ情報誌

10月号

ほほえみ

Hohoemi

ぽすと Post



環境経営実践セミナー

こんにちは。近藤です。

9月17日、東京にてRUM アライアンス(全国自動車リサイクル事業者連盟)主催の「環境経営実践セミナー」を行いました。アライアンスメンバー企業のほか、自動車リサイクルに関わる関係企業の方々とあわせ、約60名の方々が参加されました。

私は自動車リサイクル業は静脈産業として、これからますます重要な役割を担っていくことになると思っています。先行きを予測しづらい時代において、あえて、「自動車リサイクル業の未来—2020年を見据えて」とテーマを掲げました。

セミナーは2部構成とし、第一部の講演会ではまず、イスクエアの木内会長が「海外の企業は我々に何を期待しているか」、続いて私が「2020年から振り返る自動車リサイクル業」、3番目に駿河台大学の高垣教授が「ガラッと変わる 2020 年の国際ビジネス」、最後にIREC(国際リサイクル教育センター)の鶴センター長が「自動車リサイクル業の社会的評価とその位置づけ」というタイトルで講演しました。

私は講演で、2020 年における国内、海外の自動車マーケットはどのようなになっているか、それを受けて自動車リサイクル業はどう変わっていくのか、その中で、今、何をすべきか、などを話しました。

NPO RUM Alliance

第1回 環境経営実践セミナー

自動車リサイクル業の未来
—2020年を見据えて—

(開催の趣旨)

自動車リサイクル業は、近年急激な成長を遂げ、使用済み自動車の発生量も年々増加傾向にあり、減少していくものと思われ、この状況を打開するため、2020年の社会から見て、自動車リサイクル業の国内市場、海外展開の可能性について具体的な考えを練ることは大変重要である。

RUMアライアンスが現在取り組んでいる事業は、自動車リサイクルのグローバルネットワーク創りと自動車リサイクル技能者認定です。IRCC(国際リサイクル教育センター)で受講、検定合格した自動車リサイクル技能者は新しい知識と技術を身に付けた次世代を担う人材です。IRCCとしての教育成果は重要を伴って、いかに世界規模での稼働体制の構築になるか課題となっています。

第1部 講演 (18時~19時)

1. 「海外の企業は我々に何を期待しているか」(30分)
木内孝典・イスクエア会長/ノーデューター500理事長

2. 「2020年から振り返る自動車リサイクル業」(30分)
近藤孝典・RUMアライアンス代表理事/会宝編集長

日時 2008 9月17日(水)
13:00~17:00

場所 東京ステーションコンファレンス
802C1D会議室(6階)

こうした中で、結論づけたことは、従来から訴えていることとなんら変わりません。原点回帰ということ。ひとつは「お客様の喜びを、我が喜びとすること」もう一つは「競争から協調へ」ということです。

第二部では木内会長に進行役をお願いし、「我々が創る自動車リサイクル業の世界ネットワーク」というタイトルで討論を行いました。パネリストは第1部の講演者および RUM アライアンスメンバー全員です。2020 年を見据えた自動車リサイクル業について、将来の展望、日本にできることなど約 30 名のパネリストのみならず、一般参加の方々からも貴重な意見が出され、改めて、自動車リサイクル業の未来を考えるいい機会となりました。

～広報コーナー～ ✨キラリと光る存在に

2008年9月19日（土）、20日（日）

石川トヨペットさん主催のこだわりフェスタにて「エコグッズ展示会」



参加した 業務支援室 宮崎奈美さん からコメントをいただきました！



9月20、21日に石川トヨペットさん主催のこだわりフェスタでウィズ会宝のエコグッズ「トレジャーチェア」と「リベルト商品」の展示をしました。会社のコーナーに来ていただいたお客様は、まず前に飾ってある2体のプレデターとエイリアンに釘付け。それが全て車の部品からのリサイクル品だと知ると「すごーい！」と、更にグルグルとプレデターの周りを回り、隅々まで見ていました。また「トレジャーチェア」に座るお客様は、車の座席からできた椅子の心地よさを体感し、「座ったら動けんくなるわ～」と口々におっしゃっていました。リベルト商品では様々なバッグや財布があり「こんなの作れるん？何でもリサイクルできるんやねー」と感心するお客様もいらっしゃいました。販売しているこちら、お客様の驚きの声や共感していただけただけでリサイクル商品に対しての考えが一層深まった2日間となりました。



心と心のリレーエッセイ ～次はあなたの出番です～

◎ 「ハイ」の返事で人生の航路が決まる ◎



・今月の出番・

生産部 工場長

山口 敦史 さん

皆様こんにちは。会宝産業で工場長をさせて頂いております山口です。私はもともと車が好きで今から9年前、大学生活も残り1年となった頃に何とか車関係の仕事を見つけるべく就職活動をしておりましたがなかなか決まらず、半ば諦めかけていた時、大学にあるガレージで車を整備していた私に声を掛けてくれた人がいました。「就職決まってるのやらんか？」という一言に対し、私「ハイ」。「車関係の会社だけど、うちで働かないか？」に対し、私「ハイ」。この一瞬の出来事で就職が決まり私の人生の舵が会宝産業の方向に向いたわけです。

入社した時は工場スタッフも8名で、全社員合わせても16、7名でしたが、気がつけば8年経ち、社員も合わせて70名の会社になりました。車に関わって部品も安く買える。こんな気持ちで入社当初は仕事をしていましたが、世の中のことを勉強するようになってからは、地球環境に貢献できることの方がよっぽど嬉しく感じるようになりました。静脈産業と呼ばれるこの業界の底上げの為に、もっともっと頑張っていきたいと思っています。

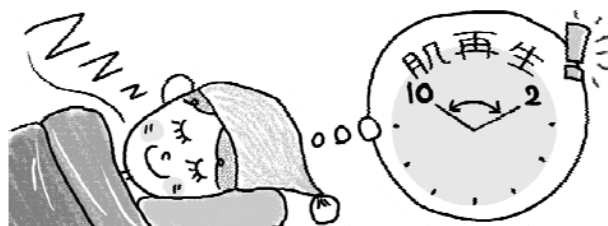
美肌は良質の睡眠から

秋の夜長とはいえ睡眠不足はお肌の天敵です。なぜなら、肌細胞は眠っている間に作られるからです。お肌の再生に重要な成長ホルモンは、眠り始めてから3時間以内に最も盛んに分泌されます。つまり、美肌の秘訣は成長ホルモンの分泌にあり、良質な眠りがポイントになるのです。

お肌再生のゴールデンタイムは夜10時～深夜2時だといわれますね。10時に床に就けたら理想的ですが、現代のライフスタイルを考えると遅くも深夜0時には就寝したいものです。人間はもともと日中に行動するようにできているため、夜更かしは本来の睡眠

リズムを妨げます。また、テレビ・パソコン・ケータイメールなどは脳の神経を刺激するので、就寝直前まで利用していると良質の睡眠を得にくくなります。

ぬるめのお風呂にゆっくり入り、軽いストレッチでリラックスしてから床に就けば、さらに睡眠の質が向上するでしょう。睡眠上手は美肌への近道であり、どんな美容液よりもお肌を元気にしてくれますよ。



こんなときどーする!?

年中行事から

冠婚葬祭まで

十三夜に曇りなし ~お月見を楽しもう~

お月見といえば旧暦8月15日に行う「十五夜」が有名です。一年のうちで最も月が美しく見えるとされる十五夜ですが、旧暦9月13日の「十三夜(じゅうさんや)」にも、かつては月をめぐる習慣がありました。

秋の長雨の時期にあたる十五夜は、雲が多かったり雨が降ってしまったりと、すっきりしない夜空が多いのですが、十三夜は「十三夜に曇りなし」の言葉通りきれいな月を拝める確率が高いようです。

お月見は、平安時代に中国から伝わってきました。当時は貴族たちの雅(みやび)な遊びとして月見の宴が行われました。江戸時代に入ると庶民の間にも広まり、多くの人がお月見を楽しんだそうです。見晴らしい湯島天神や九段坂の上、また

は水面に映る月を楽しめる芝浦の海岸や隅田川などは、江戸っ子に人気のお月見スポットだったそうですよ。

この頃にお月見でお供え物をする風習が生まれ、江戸後期にはお団子をお供えするようになりました。お月見団子の数はそれぞれの日にちにちなんでおり、15日の十五夜は15個、13日の十三夜には13個をお供えします。

今年の十三夜は10月11日にあたります。あらたまった準備はさておき、とりあえずは栗を月に見立てた和菓子「栗名月」など用意して、窓辺でのんびりとお月見はいかがですか。お酒が呑めるなら、杯(さかすき)に名月の姿を映しながらの「月見酒」も風流ですね。ぜひとも「十三夜に曇りなし」といってほしいものです。



車輦課からの お得な耳寄り情報



網戸の張替えにチャレンジ！

夏の間に大活躍した網戸が傷んでいませんか。網戸の張替えはコツさえ覚えれば自分でも簡単にできます。

【網戸の張替えに必要な材料】

張替え用の網、ビート（網を固定するゴム）、網戸用ローラー、カッターナイフ、キリ。材料はすべてホームセンターで揃います。

張替え用の網は 18・20・24 のサイズが一般的で、数が大きいほど網目が細くなります。ビートにはサイズがありますので、購入の際は使用中のものを少し持参するとよいでしょう。

【網戸の張替え方法】

①キリなどを使い、網戸から古いビートを外して溝を掃除します。

②新しいビートを2辺分（長辺+短辺）の長さずつ切り、2本用意します。

③両長辺からビートを網に張込みます。網目と棧（さん）が平行になるように注意し、網戸用ローラーでビートをきっちりはめ込みます。

④網に歪みやたるみがないかを確認し、ビートの際に沿って余分な網をカッターで切れれば完成。

一人で作業する場合は、網を目玉クリップやガムテープで仮止めしておくとお楽ですよ。



08年8月の車両処理実績

フロンガス	破壊	Kg	166
	再利用	Kg	
エアバッグ		個	287
廃オイル		リットル	7,450
LLC		リットル	2,800
入庫台数	一般	台	867
	投棄	台	
処理台数		台	895
廃車ガラ量		トン	472

今月のクレーム

ミッション



皆さんこんにちは、部品課大森です。今月はミッションのクレームでご迷惑をおかけしてしまいました。取り扱っているミッションの代表的なものとしてマニュアルトランスミッション、オートマチックミッション、そして今回もうひとつの CVT でのクレームでした。

CVT とは最近低燃費でよく耳にする機会が増えてきましたが、無段変速機とよばれる連続可変トランスミッションのこ

とです。この CVT は保管の状態でも気をつけていて車から取り外してから約3ヵ月ほどで、電磁クラッチが固着してしまうという難点があり、在庫日数にじゅうぶん注意が必要です。今回取り外してからさほど日数もたっていなかったぶんだったのですがこの固着が始まっていてギアが入らないというものでした。

お客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたが、改めて商品の保管について勉強させられました。お客様の声を大切に、より良い品質管理に心がけていきます。

会宝産業株式会社 金沢市東蚊爪町1-25

部品課 TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

E-mail kokunai@kaiho.co.jp

車輦課 TEL 076-237-5133

FAX 076-237-1950

E-mail info@kaiho.co.jp

営業時間/8:30-18:30 日・祝日休業

